

第5部 5疾病・5事業、在宅医療の医療提供体制の構築(5事業 第3章 救急医療)

救急医療体制構築に係る指標

区分	指標 (●:重点指標)	現状			数値目標	施策等	
		福井県	全国平均	備考			
病院前救護	ストラクチャー指標	救急救命士の数【救急・救助の現状】	180名 (22.4人/人口10万人)	26,015名 (20.5人/人口10万人)	平成28年4月1日現在調査		
		住民の救急蘇生法講習の受講率【救急・救助の現状】	196人/人口1万人 (全国2位)	113人/人口1万人	平成27年中調査 普通・上級講習の人口1万人あたりの受講者数		・県民の救急蘇生法講習会の受講促進を図ります。
		AEDの設置台数【福井県地域医療課調べ】	1,682台	—	平成29年10月1日現在		・AEDの設置を推進するとともに、設置場所等の情報を提供します。
		救急車の稼働台数【救急・救助の現状】	54台 (6.9台/人口10万人)	6,132台 (4.8台/人口10万人)	平成28年4月1日現在調査		
		救急車の受入件数【救急・救助の現状】	6,080件 (760.7件/人口10万人)	1064.9件/人口10万人	平成28年度 調査		・実施基準に基づく傷病者の搬送および受入の実施状況の調査・検証を行い、必要に応じ実施基準の見直し等を行うことなどにより、適切な搬送および受入体制を維持します。
		メディカルコントロール協議会の開催回数【都道府県調査】	6回	—	平成28年度 実施回数		
		● 救急患者搬送数【救急・救助の現状】	26,723人 (3,316人/人口10万人)	5,478,370人 (4,288人/人口10万人)	平成27年中 調査		
	心肺機能停止傷病者全搬送人員のうち、一般市民により除細動が実施された件数【救急・救助の現状】	8件 (0.9件/人口10万人)	1,664件 (1.3件/人口10万人)	平成27年中 調査	全国平均 1.5件/人口10万人		
病院前救護 救命医療 入院救急	プロセス指標	● 救急要請(覚知)から救急医療機関への搬送までに要した平均時間【救急・救助の現状】	31.9分 (全国3位)	39.3分	平成28年中 調査	全国3位以内を維持	
		● 重症以上傷病者の搬送において、現場滞在時間が30分以上の件数【受入状況実態調査】	29件 (3.6件/人口10万人)	22,379件 (17.6件/人口10万人)	平成27年中 調査		・ドクターヘリの導入を検討します。
		● 重症以上傷病者の搬送において、現場滞在時間が30分以上の件数の割合【受入状況実態調査】	0.8% (全国1位)	5.2%	平成27年中 調査		
		● 重症以上傷病者の搬送において、医療機関に4回以上受入れの照会を行った件数【受入状況実態調査】	15件 (1.9件/人口10万人)	11,754件 (9.2件/人口10万人)	平成27年中 調査		
		● 重症以上傷病者の搬送において、医療機関に4回以上受入れの照会を行った割合【受入状況実態調査】	0.4% (全国5位)	2.7%	平成27年中 調査	1%未満	
病院前救護 救命医療 入院救急 救命期後医療	アウトカム指標	● 心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の1ヶ月後生存率【救急・救助の現状】	14.4% (15人/104人)	11.5% (3,186人/24,496人)	平成27年中 調査		
		● 心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の1ヶ月後社会復帰率【救急・救助の現状】	13.0% (12人/104人)	8.6% (2,103人/24,496人)	平成27年中 調査	全国平均以上を維持	
救命医療	ストラクチャー指標	救命救急センターの数【医療施設調査】【厚生労働省救急医療体制調査】	2施設 (0.3施設/人口10万人)	284施設 (0.2施設/人口10万人)	平成28年 調査		
	プロセス指標	特定集中治療室を有する病院数・病床数【医療施設調査】	6施設 (0.7施設/人口10万人)	781施設 (0.6施設/人口10万人)	平成26年 調査		・救命救急センターが行う設備整備等による機能強化等を支援します。
		都道府県の救命救急センターの充実度評価S及びAの割合【救命救急センターの評価結果】	2施設/2施設 (100.0%)	293施設/295施設 (99.3%)	令和2年度 調査		
入院救急	ストラクチャー指標	2次救急医療機関の数【救急医療体制調査】	54施設 (6.9施設/人口10万人)	2730施設 (2.1施設/人口10万人)	福井県 平成30年1月 調査 全国平均 平成29年4月 調査		・病院群輪番制の円滑な運営を図るとともに、病院群輪番制病院等が行う設備整備等による機能強化等を支援します。
初期救急	ストラクチャー指標	初期救急医療施設の数【医療施設調査】	16施設 (2施設/人口10万人)	—	平成26年 調査		・休日、夜間急病診療所や在宅当番医制による診療体制の充実・強化に努めるとともに、休日夜間対応できる薬局、精神科救急と一般救急との連携等を推進します。
		一般診療所のうち、初期救急医療に参画する機関の割合【医療施設調査】	24.7%	22.4%	平成26年 調査		
救命期後医療	プロセス指標	● 転棟・退院調整をする者を常時配置している救命救急センターの数【救命救急センターの評価結果】	1施設/2施設 (50%)	149施設/292施設 (51%)	令和元年度 調査		
		緊急入院患者における退院調整・支援の実施件数	43件 (5.4件/人口10万人)	—	平成27年度 調査		